

## 平成21年10月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成21年10月30日（金）午前10時00分～午後0時01分

2 場 所 教育センター 第1研修室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、清水三和子委員、守谷靖委員、佐藤徳一教育長

[事務局] 大沢賢教育総務部長、内野正行学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、中正美学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、則武辰夫社会教育担当参事兼社会教育課長、又吉春雄生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中村藤司保健給食担当参事兼保健給食課長、関口恭一スポーツ振興課長、金子美也子文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、齊藤仁教育センター所長、平川聖一教育総務課主幹兼教育企画室長、嶋津文行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、細山俊男社会教育課副主幹、市川雅美教育総務課主査

[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 なし

6 開 会

本日の議案は、第25号から第31号と、追加議案第32号の合計8件。議案第30号「平成21年度教育費予算（12月補正）について」、及び議案第31号「平成22年度教育費当初予算について」は、予算に関する審議のため、また議案第32号「平成21年度所沢市教育功労者の表彰について」は、個人に関する情報のため、非公開とすることとしたい旨の発議があり、賛成多数で、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第25号 所沢市教育委員会委員の議席について

大沢教育総務部長から説明がなされ、古敷谷委員長職務代理者より、現状の議席のままでよいのではないかと、との発議があり、富田委員長の採決により、委員全員が賛成した。

議案第26号 所沢市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

資料に則り、中正美学校教育部次長兼学校教育課長から説明がなされた。

質疑は特になし。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第27号 所沢市立公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定  
について

資料に則り、則武社会教育担当参事兼社会教育課長から説明がなされた。  
以下、質疑。

(清水委員)

新たな中央公民館の使用料は、床面積に応じて設定されているようだが、かなり広い部屋なのか。

(則武社会教育担当参事)

現在の中央公民館に比べて50～100㎡と広めになっています。

(清水委員)

広い部屋を使う場合は300円になってしまうが、少人数での利用のときは控え室を使ったほうがいいのか。

(則武社会教育担当参事)

控え室はかなり狭い部屋で、学習活動には不向きだと思います。

(清水委員)

現在の中央公民館の利用者は、新たな中央公民館を利用する場合、値上げ感を抱くことになると思うが、従来のように50㎡以下で使いたい場合、半分に仕切ることはいかないか。

(則武社会教育担当参事)

あくまで1区分300円いただくこととなります。

(古敷谷委員長職務代理者)

利用料は時間帯による差がないが、利用率には時間帯ごとの差がないのか。

(則武社会教育担当参事)

できる限り多くの方々にご利用いただきたいという考え方から、全て1区分2時間で区切っています。時間帯ごとに利用料を変えることは、現状では考えていません。

(守谷委員)

16ミリ映写機などの映像装置は廃棄してしまうのか。

(則武社会教育担当参事)

使用料をいただいて貸出す状態ではないため料金表からは除きましたが、希望があれば無料で貸出すことは可能です。

(清水委員)

ホールの入場料について、「100分の100を乗じて得た額を加算する」とあり、分かりづらく感じるが、表現を変えた理由は何か。

(則武社会教育担当参事)

市全体で条例における表現の統一を図ったものです。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第28号 所沢市立所沢図書館設置条例の一部を改正する条例制定について

資料に則り、斉藤所沢図書館長から説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

所沢分館の移転にあたり、利用できない期間は生じるのか。

(斉藤所沢図書館長)

1月から1月半の閉館はやむを得ないと考えていますが、可能な限り移転に係る閉館期間は短くしたいと考えています。

(清水委員)

「家庭教育の向上に資する活動を行う者」とは、具体的にはどのような方を想定しているのか。

(斉藤所沢図書館長)

P T Aや子育てサークルの講師、保育士、子育て情報誌の編集者などが考えられます。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第29号 所沢市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

資料に則り、関口スポーツ振興課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

可動席は今までどのくらい利用があったのか。

(関口スポーツ振興課長)

昨年は15団体が利用し、230台を出し入れしました。そのほとんどがVリーグ、bjリーグ、サーカスなど営利、入場料を徴収するものです。その他の公的団体は、減免により負担はありません。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第30号 平成21年度教育費予算(12月補正)について

資料に則り、藤田教育総務部次長、田中教育施設担当参事兼教育施設課長、則武社会教育担当参事兼社会教育課長、又吉生涯学習担当参事兼生涯学習推進センター所長、中正美学校教育部次長兼学校教育課長から順次説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

埼玉県市町村総合事務組合とは、どのようなものか。

(大沢教育総務部長)

退職金の原資を県内の自治体が一括して積立てておき、退職時の対応をす

るための組織です。勸奨退職の場合、普通退職に比べて退職手当額が多くなりますが、翌年度に市が総合事務組合に対して応分額を負担金として支払うものです。

(富田委員長)

その組織の事務局は、どこにあるのか。

(大沢教育総務部長)

さいたま市内に事務局があり、県内のほとんどの市町村が加入しています。市単独ですと大量退職があったときに一時に多額の退職手当を支出しなければならず、財政を圧迫することになるため、共同して退職金をプールしておくことで、それを回避しようというものです。

(古敷谷委員長職務代理者)

警備業務委託契約の不用額は、具体的にはどういう理由からか。

(田中教育施設担当参事)

競争原理が働いたためです。

(古敷谷委員長職務代理者)

新たな中央公民館ホール管理事務の臨時職員の勤務条件は。

(則武社会教育担当参事)

週4日勤務を予定しています。

(守谷委員)

文化財史料の購入に関して、市場に出回っている文化財史料の把握はどのようにしているのか。

(又吉生涯学習担当参事)

貴重な文化財史料については、専門誌やインターネットから情報収集しています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

### 議案第31号 平成22年度教育費当初予算について

資料に則り、各所属長から順次説明がなされた。

以下、質疑。

(守谷委員)

特別支援教育支援員の人数削減は、時代に逆行することにならないか。

(中正美学校教育部次長)

厳しい財政状況であるため、対象となる児童生徒数を調査し、必要度の高いところに計上したものです。

(大沢教育総務部長)

市長、副市長の事前のヒアリングの場でも同様のご意見がありましたが、教育委員会の総予算額を引き下げる必要があることから、ソフト面での予算削減をするとすると、この項目を削減せざるを得ない状況です。

(古敷谷委員長職務代理者)

所沢第二幼稚園のプレハブリースは、5年契約でなければならないのか。

(田中教育施設担当参事)

一般的にリース契約は5年となっています。

(古敷谷委員長職務代理者)

リース額が高額に感じられるが、市で建設した場合もっと費用がかかってしまうのか。

(田中教育施設担当参事)

存続期間の問題もあり、当面、プレハブリースでの対応になります。

(冨田委員長)

1、2年だとリース料率が高くなってしまふのかもしれない。

(清水委員)

図書館所沢分館の窓口業務委託について、どのような会社に委託することになるのか。

(斉藤所沢図書館長)

サービス低下のないように、図書取扱のノウハウを持っている会社への委託を考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

社会教育課の補助金、スポーツ振興課の助成金は、市が支出するものなのか、国からの補助金なのか。

(則武社会教育担当参事)

従来、文化団体連合会などに各種催しの経費として一括して補助していましたが、合唱祭実行委員会がそこから独立したため、相当分を切り分けたもので、予算的に増えるわけではありません。財源は、すべて市単独予算です。

(関口スポーツ振興課長)

財団法人地域活性化センターは総務省の外郭団体であり、原資は国からのものです。全国大会を実施することによりスポーツの拠点づくりを目指すもので、市が申請する形をとっています。事業終了後に地域活性化センターへの報告に基づき助成されるものです。

(守谷委員)

新たな中央公民館について、床を買うとはどういうことか。

(則武社会教育担当参事)

再開発事業は地権者が土地を提供することによって成立しており、事業完了後に、市は地権者として相当分を分割して買い戻し、合わせて、公民館部分をいわゆる保留床分として購入するという手法を用いています。

(守谷委員)

土地の所有権、使用权を分割で買うということか。

(則武社会教育担当参事)

そのようなものです。

(清水委員)

学習支援員と特別支援教育支援員の賃金の差は、学習支援員は教員免許を

持っているからなのか。

(中正美学校教育部次長)

そのとおりです。

(清水委員)

学習支援員と特別支援で共通する部分もあるように思うが、統合することはできないか。

(中正美学校教育部次長)

今後、学習支援員に特別支援教育支援員の役割も持たせていく必要がでてくるかもしれません。

(富田委員長)

予算の総額はここに示されたものより増えるということか。

(藤田教育総務部次長)

そのとおりです。

(富田委員長)

今年度の当初予算額と補正予算額を足すと、教育費の総額はどのぐらいになるのか。

(藤田教育総務部次長)

平成21年度の当初予算額が118億円で、その後6月、9月、12月の補正により増減があるものです。

(富田委員長)

来年度も当初予算から上乘せが必要になったときには、認めてもらえるものなのか。

(大沢教育総務部長)

就学援助費や光熱水費などは、ある程度の時期に補正せざるを得ないと思います。

(富田委員長)

今後、ソフト面での予算削減の可能性はあるのか。

(大沢教育総務部長)

市長や財政担当との協議の中で、工事費等が削減されるのは間違いないであろうと考えています。

(富田委員長)

相当厳しい状況のようだが、新規事業については、なるべく減らさないようにお願いしたい。

(清水委員)

こども未来部は、削減割合からして予算化に支障はないのか。

(大沢教育総務部長)

こども未来部も現在の要求額からの予算削減を指示されていますが、教育委員会から事務移管した幼稚園就園奨励費や父母負担軽減交付金などは削減できないので、その他の項目からの削減となると厳しいのではないかと思います。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第32号 平成21年度所沢市教育功労者の表彰について

資料に則り、藤田教育総務部次長から説明がなされた。

質疑は特になし。

(富田委員長)

大変すばらしく、喜ばしいことであると感じた。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

## 8 協議事項

特になし。

## 9 報告事項

- 教育振興基本計画について（教育企画室）
- 教育委員会からの事務の移管について（社会教育課）
- 第20回所沢シティマラソン大会参加者数について（スポーツ振興課）
- 第9回所沢市生涯学習フェスティバルについて（生涯学習推進センター）
- 第10回図書館まつりについて（所沢図書館）
- 学校給食について（保健給食課）

## 10 その他

- ・教育委員会11月定例会：11月27日（金）午前10時～ 教育センター
- ・教育委員会12月定例会：12月22日（火）午前10時～ 602会議室

11 閉会 午後0時01分